

平成 16 年度 第 2 回常任理事会 速報録

日 時 平成 16 年 5 月 22 日 (土) 午後 1 時 ~ 2 時 40 分
場 所 日本病院会 会議室
出席者 23 名 + 委任状 3 通 (定数 26 名) 監事・議長等 7 名

冒頭山本会長から、昨夕、東京・六本木のホテルで行われた「新執行部披露パーティ」の報告があり、230 名ほどの参加があつて盛会に終わった旨の説明がなされた。

〔承認事項〕

1. 会員の入退会について

ミタニ藤田病院(香川県)等正会員の入会が 2 件と退会 2 件及び役員慰留による退会撤回が 1 件、並びにメディカルスクエア赤坂(東京都)等賛助会員の入会 6 件について承認された。正会員数は 2,708 病院(公的 954、私的 1,754、総病床数 71 万床)で変わらず、賛助会員数は 522 会員となった。

2. 厚生労働省及び各団体からの依頼について

第 12 回日本療養病床協会全国研究会の後援と開会式出席依頼(依頼元・日本療養病床協会)等 3 件について説明され承認された。

3. 診療情報管理士受験認定校の指定について

早稲田速記医療福祉専門学校等 2 件の受験指定専門学校と 1 件の受験指定大学の申請について、調査報告書にもとづき承認された。

〔報告事項〕

1. 各委員会、研究研修会の開催報告について

- (1) ホスピタルショウ委員会(4/19) ...7/14~16、東京ビッグサイト開催の国際モダンホスピタルショウ 2004 について現在の準備状況等を確認した。出展申込は既に昨年を上回り、これに併設展示が入るため会場を上のフロアまで拡大する。主催者企画の展示は「在宅医療と地域連携」「医療情報ネットワークと病院マネジメント」の 2 つで、

3 日間のカンファレンスの企画も固まった。

- (2) 予防医学委員会(5/11)...日本人間ドック学会と日本総合健診医学会の役員兼任を取りやめることとし、日野原先生には人間ドック認定指定医委員長を勇退いただき学会の名誉顧問に推挙、後任委員長に中山前日病会長をお願いすることとした。この8月、第1回の認定指定医677名の認定更新を迎えるが、更新条件の情報が不徹底のため緩和条件を検討することとした。人間ドック機能評価のパイロットスタディを更に6/10・11の2日間、都内2施設で行う。

- (3) 日本人間ドック学会・学術図書編集小委員会(5/12)...第45回日本人間ドック学会(8/26~27、名古屋)の一般演題は4/30締切で264題の応募があり、演題の分類担当者を決めた。来年度以降は実情に合わせて、大分類を臓器、検査、ライフスタイル、事後・サービス、その他とし、計55の分類とする予定。
- (4) 医療制度、医療経済・税制 合同委員会(5/14)...委員会運営について協議し、副委員長と追加委員候補者、小委員会の設置などを決めた。日本病院会の基本方針をもとに、論点整理として「国民皆保険がどれだけ国民の健康に貢献しているか」などという3点を提示し討議した。平成18年度改定に向けて年内に方針を決め行動を起こすという日程から、次回に中心の課題を決めたい。平成17年度税制改正要望は消費税問題を重点に中身を詰め、四病協に提出することとした。

- (5) 診療情報管理士教育委員会(5/17)...受講生増、新カリキュラムへの変更等に伴い、基礎課程、専門課程、分類の各小委員会を設けることとした。受験認定校申請の専門学校・大学13件の視察予定を立て、ICD コードの教育、認定について分類小委員会で検討することとした。商標登録について、従来の診療録管理士、診療情報管理士のほか Health Information Manager の英語略称等を追加申請した。

2. 四病協諸会議の開催報告について

- (1) 総合部会(4/28)...日医との政策協議については別途連絡協議の場を設けるよう調整中。委員会のあり方は8人委員会で検討し、四病協研修センターも引続き8人委員会で運営するようにした。日医の医業税制検討委員会委員は中山前会長に替わり、武田副会長が医法協豊田会長とともに参画することで承認された。日病の救急医療防災セミナー

を四病協主催とする提案は各団体が持ち帰り検討、日病の診療情報管理士教育委員会委員に全日病西澤副会長が就任する件を了承した。

(2) 医療保険・診療報酬委員会(5/7) ... 中医協・診療報酬調査専門組織がこの7~10月に行う各調査(DPC導入の評価及び影響の検証等、慢性期入院医療の包括評価、医療機関のコスト、医療技術の評価)について、厚労省医療課と意見交換した。調査結果は18年度改定に反映されるが、病院団体としてどう協力できるか検討した。日病の保険適用外診療材料調査の第2次報告を提出し論議した。

(3) 医業経営・税制委員会(5/12) ... 平成17年度税制改正は消費税問題を第一に、日医と同一歩調をとって強力に要望していくこととした。ほかに事業税の特例存続と拡充、固定資産税の軽減、出資額限度法人の制度化等を取り上げ、総合部会に提出することとした。病院建物耐用年数の調査報告書は6月末を予定。

(4) 8人委員会(5/19) ... 日病の委員が池澤、大井両副会長に交替し、新委員長に西澤全日病副会長、副委員長に大井副会長が選任された。委員会の役割は従来どおり緊急案件への対応、佐々中医協委員との連携、各委員会との連携調整等とし、他の委員会の検討課題をまとめた。

四団体の会長会議から、8人委員会の検討事項として 日医との連絡会の開催、シンクタンクの設置、中医協に対する取組み等全国の病院団体が共同歩調を取れる方策の模索が挙げられ、また、四団体の基本的スタンスとして 株式会社の病院経営参入と混合診療導入の反対、国民皆保険制度の堅持、DPC導入に対する積極的な関与の3点を確認したと伝えられ、四団体の意思統一を図るよう協議した。

3. 統計情報委員会の各調査実施について

委員会の定例調査である「平成16年度診療報酬改定影響度の調査」及び「平成16年度病院運営実態分析調査」について趣旨説明があり、それぞれ6/4、8/10が提出締切りであると協力要請がなされた。

4. その他

(1) 平成16年春の叙勲・褒章で当会推薦により武田副会長が瑞宝小綬章を受章したほか会員関係者の受章者を紹介。

(2) 平成16年度病院長・幹部職員セミナーのプログラムを発表、8/5~6大阪で植松日医会長の特別講演やシンポジウムなどを予定。

(3)第 54 回日本病院学会の開催(7/2～3、横浜)について土屋学会長から説明があり、一般演題が 486 題、四病協と全自病協トップとの懇談やコメディカル 8 団体のワークショップなどを企画、会場近くまで地下鉄が乗り入れたとして多数の病院職員の参加協力を求めた。

〔協議事項〕

1. 中医協代表について

山本会長から中医協の関係で一つ諮りたいとして、諸橋会長時代以来中医協に病院代表を入れるようにと延々とやってきたが、今回この見直しをスタートさせようとしており、この際、病院団体として中医協に正式な意味での病院代表を入れるよう、今の医療側 5 人の医師代表とは別に、病院代表として入れるようアピールしていきたいと提案があり、賛同を得た。中医協が近々再開されるので至急提出することとした。

もう一点山本会長から、昨日の新執行部披露パーティのように、日病も外部から見える活動をすべきであるということで、「今後の医療」をテーマに医政講演会のようなものを計画したいと提案があった。以上で議事を終了し、この後政治連盟の役員会に切り替えて、武田委員長から「参院選に対する当連盟の基本方針」について説明があり、会員の協力を呼びかけた。

会議終了後、会場を移動してダイヤモンドホテルで「平成 16 年度代議員会・総会」を開催。平成 15 年度事業報告及び収支決算の承認に関する件、名誉会長・名誉会員の承認に関する件、顧問・参与・外部監事の委嘱に関する件とも執行部提案どおり承認された。また「日本病院会の新体制における活動基本方針(案)」について説明がなされ、承認された。